SPARX

■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2008年11月12日から2027年11月10日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてアジア太平洋諸国（除く日本）と中東諸国の株式に実質的に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。
主要運用対象	ケイマン籍証券投資法人「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド」およびわが国の証券投資信託「スパークス・マネー・マザーファンド」を主要投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時（11月10日、休業日の場合は翌営業日）に分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。

スパークス・アジア中東株式ファンド（資産成長型）

第11期 運用報告書（全体版）

（決算日 2019年11月11日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、『スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)』は、このたび、第11期の決算を行いました。
ここに第11期の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社
東京都港区港南一丁目2番70号　品川シーズンテラス
＜ お問い合わせ先 ＞
リテールBDマーケティング部
電話：03-6711-9200(代表)
受付時間：営業日の9時～17時
ホームページアドレス：https://www.sparx.co.jp/

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index		投資信託受益証券組入比率	投資証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
7期(2015年11月10日)	26,935	0	△ 1.5	995.3	△ 2.8	0.0	90.5	34
8期(2016年11月10日)	23,197	0	△13.9	899.1	△ 9.7	0.0	86.1	31
9期(2017年11月10日)	29,288	0	26.3	1,307.9	45.5	0.0	84.8	39
10期(2018年11月12日)	25,617	0	△12.5	1,162.3	△11.1	0.0	85.9	32
11期(2019年11月11日)	27,451	0	7.2	1,269.8	9.3	0.0	90.4	33

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

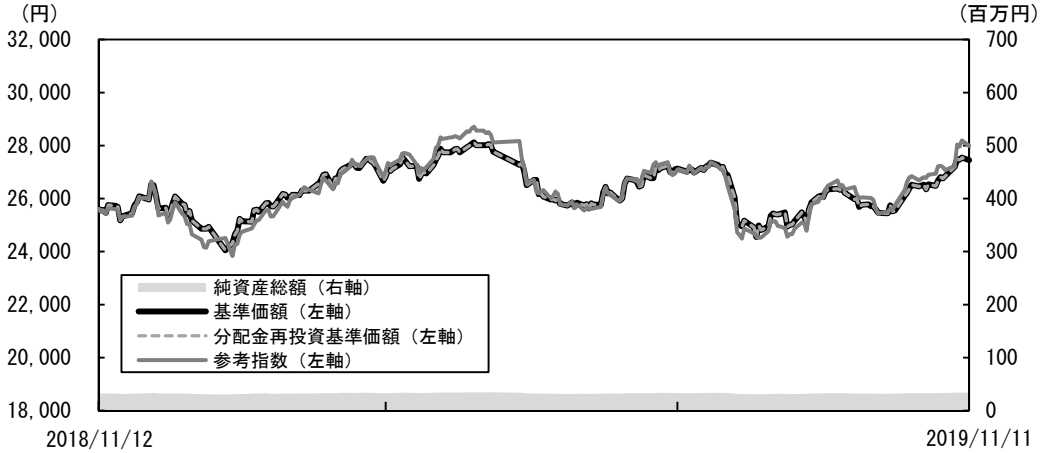
年月日	基準価額		MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index		投資信託受益証券組入比率	投資証券組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2018年11月12日	25,617	－	1,162.3	－	0.0	85.9
11月末	26,063	1.7	1,180.4	1.6	0.0	88.2
12月末	24,932	△ 2.7	1,112.3	△ 4.3	0.0	87.8
2019年 1月末	26,026	1.6	1,177.2	1.3	0.0	89.2
2月末	27,162	6.0	1,238.7	6.6	0.0	89.9
3月末	26,951	5.2	1,233.5	6.1	0.0	89.8
4月末	27,772	8.4	1,288.1	10.8	0.0	89.6
5月末	25,842	0.9	1,169.8	0.6	0.0	89.7
6月末	26,891	5.0	1,227.2	5.6	0.0	89.8
7月末	27,198	6.2	1,227.0	5.6	0.0	89.6
8月末	25,154	△ 1.8	1,127.6	△ 3.0	0.0	88.1
9月末	25,782	0.6	1,180.7	1.6	0.0	88.7
10月末	26,760	4.5	1,233.8	6.2	0.0	89.4
(期末)						
2019年11月11日	27,451	7.2	1,269.8	9.3	0.0	90.4

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

■ 運用経過

1）基準価額等の推移 （2018年11月13日～2019年11月11日）

基準価額は期首に比べ7.2％（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



第11期首： 25,617円
第11期末： 27,451円（既払分配金0円）
騰 落 率： 7.2％（分配金再投資ベース）

※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。
※ 海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
※ 参考指数は期首（2018年11月12日）の基準価額に合わせて指数化しております。

2）基準価額の主な変動要因

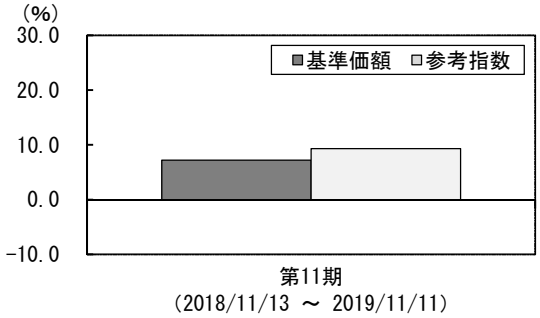
オーストラリアや台湾、韓国の各市場が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。一方、オーストラリアドルや香港ドルが円に対して下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

3）ベンチマークとの差異

※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。
右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

※ 参考指数は、「MSCI AC Asia Pacific ex Japan Index」です。

当ファンドの基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は、分配金込みです。

■ 投資環境

（アジア太平洋諸国（除く日本）と中東諸国の株式）

米中貿易摩擦は両国が初めて歩み寄りを見せたことで、「小休止の様相」を呈しました。米国、オーストラリア、インドネシア、韓国、インドの中央銀行はそれぞれ政策金利の引き下げ等を実施し、自国経済の成長の下支えを図りました。そして、アジア株式市場はバリュエーションの割安感とアジア地域への資本の再流入などにより上昇しました。テクノロジーセクターの堅調なモメンタムを牽引したのは、韓国株式市場と台湾株式市場でした。Apple 社（米国）が発表した新型 iPhone の小売価格が予想を下回ったことが消費者の関心を呼び、同機種のサプライチェーンに属する企業の株価が底堅く推移しています。半導体／メモリ価格の底打ちが予想されること、5G（第 5 世代移動通信システム）投資が堅調に推移していることも、テクノロジーセクターの株価の下支え要因となりました。

（国内債券・短期金融市場）

2016年2月より「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を導入したため、国内債券・短期金融市場はマイナスの利回りとなりました。

■ ポートフォリオ

＜ スパークス・アジア中東株式ファンド（資産成長型） ＞

「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド（ケイマン籍証券投資法人）」と「スパークス・マネー・マザーファンド（国内証券投資信託）」の投資信託証券への投資を通じて、アジア太平洋諸国（除く日本）と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行うことを基本方針としております。期間中、当ファンドの運用方針に準じて、運用を行ないました。

＜ SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド ＞

アジア太平洋諸国（除く日本）と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行いました。ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資しました。

（主なプラス要因）

アジア太平洋地域の18か国・地域で保険事業展開するAIA Group（香港／金融）は、中国の保険当局が同社に対し当初の5地域以外に天津と石家荘（河北省）で事業を行うことを認可したことなどにより上昇しました。世界最大手の半導体ファウンドリメーカー（半導体の受託製造企業）のTaiwan Semiconductor Manufacturing Company（台湾／情報技術）は、5Gスマートフォンの予想を上回る普及と投資ペースの拡大によって顧客からの旺盛な需要があると見込まれ上昇しました。ファブレス半導体のメーカーのMediatek Inc（台湾／情報技術）は低コストのソリューションを生み出し、急速に市場シェアを拡大したため上昇しました。

（主なマイナス要因）

Indiabulls Housing Finance Company（インド／金融）はインドでノンバンクの流動性に関する懸念が再浮上したことが足かせとなり下落しました。スーツケースとバッグの世界的な大手メーカーで小売も手掛けるSamsonite International（香港／一般消費財）は、売上高が米国でも中国でも低調だったことが投資家の失望を買い下落しました。

＜ スパークス・マネー・マザーファンド ＞

信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当作成期間の運用にあたりましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

■ 今後の運用方針

＜ スパークス・アジア中東株式ファンド（資産成長型） ＞

引き続き、「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド（ケイマン籍証券投資法人）」と「スパークス・マネー・マザーファンド（国内証券投資信託）」の投資信託証券への投資を通じて、アジア太平洋諸国（除く日本）と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指します。

＜ SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド ＞

引き続き、アジア太平洋諸国（除く日本）と中東諸国の株式を実質的な主要投資対象とし、安定的なインカムゲインの追求と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別投資します。

＜ スパークス・マネー・マザーファンド ＞

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 分配金

当ファンドは中長期的な成長を図ることを目標として運用を行っていることから、分配金のお支払いは見送らせていただきました。留保益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

〔 分配原資の内訳 〕

（単位：円　1万口当たり・税込み）

項　　目	第11期 （2018年11月13日～ 2019年11月11日）
当期分配金 （対基準価額比率）	－ （－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	18,688

（注1）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注2）該当欄に数値がない場合は「－」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。
（注3）当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

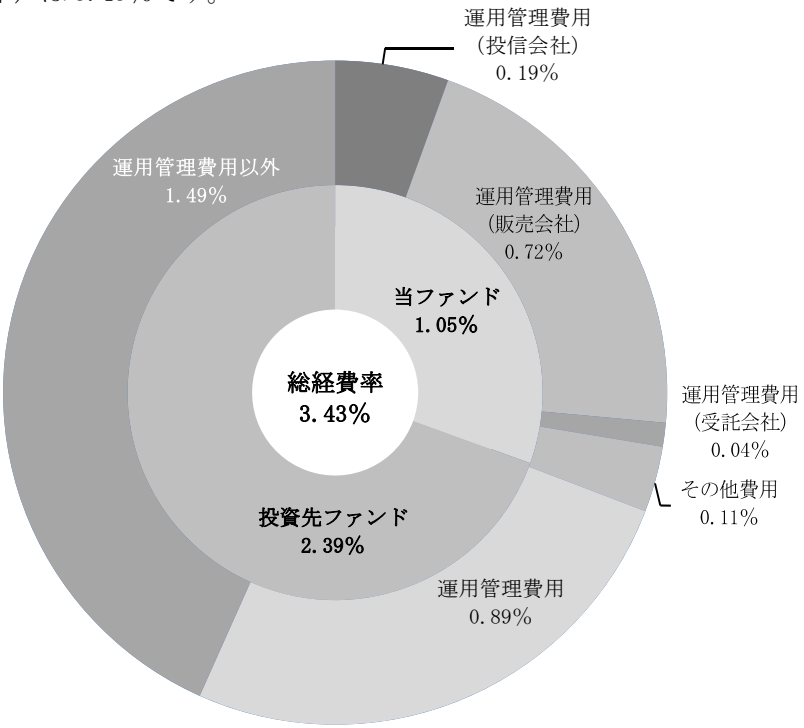
項目	第11期 2018年11月13日～2019年11月11日 金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	247円	0.937%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(49)	(0.186)	・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(188)	(0.713)	・購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(10)	(0.038)	・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	28	0.106	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(28)	(0.106)	・ファンドの監査人等に対する報酬および費用
（その他）	(0)	(0.000)	・信託事務の処理等に関するその他の諸費用
合計	275	1.043	
期中の平均基準価額は26,378円です。			

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注2）各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注3）各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
（注4）各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。（親投資信託を除く）

（参考情報）

○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1 口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は 3.43%です。



総経費率（①＋②＋③）	3.43%
①当ファンドの費用の比率	1.05%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.89%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.49%

（注）①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 売買および取引の状況 （2018年11月13日から2019年11月11日まで）

投資証券

銘柄名	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	0.146	1,292	－	－

（注1） 金額は受け渡し代金。
（注2） 単位未満は切り捨て。

■ 主要な売買銘柄 （2018年11月13日から2019年11月11日まで）

投資証券

買付			売付		
銘柄	口数	金額	銘柄	口数	金額
	千口	千円		千口	千円
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	0.146	1,292	—	－	－

（注1） 金額は受け渡し代金。（償還分は含まれておりません。）
（注2） 単位未満は切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等 （2018年11月13日から2019年11月11日まで）

（1） 当期中の利害関係人との取引状況
当期中における利害関係人との取引はありません。
（2） 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

種類	当作成期		
	買付額	売付額	当作成期末保有額
	百万円	百万円	百万円
投資証券	1	－	30

（注1） 単位未満は切り捨て。
（注2） 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。
（注3） 当ファンドが主要な投資対象としている「SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド」は弊社の関係会社であるSPARX Asia Capital Management Limitedが運用を行っております。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況 （2018年11月13日から2019年11月11日まで）

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況 （2018年11月13日から2019年11月11日まで）

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 （2019年11月11日現在）

(1)ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		前期末	当期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド		3	3	30,572	90.4
合計	口数・金額	3	3	30,572	－
	銘柄数＜比率＞	－	－	1銘柄	〈90.4%〉

（注1）合計欄の〈　〉内は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注2）口数・評価額の単位未満は切り捨て。

(2)親投資信託残高

種類	前期末	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
スパークス・マネー・マザーファンド	10	10	10

（注1）口数・評価額の単位未満は切り捨て。
（注2）当該マザーファンドの当期末の受益権総口数は、9,994千口です。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 （2019年11月11日現在）

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 （2019年11月11日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資証券	30,572	89.2
スパークス・マネー・マザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	3,694	10.8
投資信託財産総額	34,276	100.0

（注）評価額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2019年11月11日現在）

項目	当期末
(A) 資産	34,276,848円
コール・ローン等	3,693,063
スパークス・マネー・マザーファンド（評価額）	10,985
投資証券（評価額）	30,572,800
(B) 負債	472,166
未払解約金	304,000
未払信託報酬	150,601
未払利息	10
その他未払費用	17,555
(C) 純資産総額（A－B）	33,804,682
元本	12,314,362
次期繰越損益金	21,490,320
(D) 受益権総口数	12,314,362口
1万口当たり基準価額（C／D）	27,451円

〈注記事項（当期の運用報告書作成時では監査未了）〉

①期首元本額	12,710,593円
期中追加設定元本額	2,295,720円
期中一部解約元本額	2,691,951円

■ 損益の状況

当期　（自2018年11月13日　至2019年11月11日）

項目		当期
(A) 配当等収益		1,243,338円
受取配当金		1,246,818
支払利息	△	3,480
(B) 有価証券売買損益		1,285,913
売買益		1,374,585
売買損	△	88,672
(C) 信託報酬等	△	335,525
(D) 当期損益金（A＋B＋C）		2,193,726
(E) 前期繰越損益金	△	891,867
(F) 追加信託差損益金		20,188,461
（配当等相当額）	(	19,122,900)
（売買損益相当額）	(	1,065,561)
(G) 合計（D＋E＋F）		21,490,320
(H) 収益分配金		0
次期繰越損益金（G＋H）		21,490,320
追加信託差損益金		20,188,461
（配当等相当額）	(	19,122,900)
（売買損益相当額）	(	1,065,561)
分配準備積立金		3,890,327
繰越損益金	△	2,588,468

（注1）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注2）損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注3）損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項目		第11期
費用控除後の配当等収益額	A	1,078,394円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額	B	－円
収益調整金額	C	19,122,900円
分配準備積立金額	D	2,811,933円
当ファンドの分配対象収益額（E=A＋B＋C＋D）	E	23,013,227円
当ファンドの期末残存口数	F	12,314,362口
1万口当たり収益分配対象額（G=E/F×10,000）	G	18,688.11円
1万口当たり分配金額	H	－円
収益分配金金額（I=F×H/10,000）	I	－円

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	ー円

■ お知らせ

2019年2月9日付で下記の通り投資信託約款の変更をいたしました。

・当ファンドの電子公告のアドレスにつき、弊社ホームページのURL変更（https://www.sparx.co.jp/）に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。

ご参考として以下に、スパークス・アジア中東株式ファンド（資産成長型）が組入れている各投資対象ファンドの運用内容を掲載いたします。

＜参考情報＞

SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド

SPARX ASIA MIDDLE EAST EQUITY INCOME FUND

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

設定形態	ケイマン籍証券投資法人／オープン・エンド型
基準通貨	日本円
運用方針	アジア中東地域の株式ならびにそれらの株式に関連する証券等を主要な投資対象として、長期的なインカムゲインおよびキャピタル・ゲインの獲得を目指します。
主な投資制限	一発行体への投資は純資産総額の10%以内。 流動性の低い株式関連証券等への投資は純資産総額の15%以内。 発行済株式に対する投資比率は50%以内。
決算日	12月末日
分配方針	毎年、2月、4月、6月、8月、10月、12月の各末日に、インカム・ゲインならびにキャピタルゲインを原資として分配する方針としています。
管理運用会社	SPARX Asia Capital Management Limited
投資運用会社	SPARX Asia Investment Advisors Limited
受託会社	HSBC Trustee (Cayman) Limited
受託会社代理人	HSBC Institutional Trust Services (Asia) Limited
保管会社	HSBC Institutional Trust Services (Asia) Limited

（注）記載内容、数値等は、当報告書作成日現在知りうる情報に基づき作成しております。

■ 組入資産の明細 （2019年11月8日現在）

外国株式等

銘柄		株数	評価額 外貨建金額	評価額 基準通貨建金額	業種等	備考
（アラブ首長国連邦市場）		百株	千UAEディルハム	千円		
First Abu Dhabi Bank PJSC		710	1,095	32,582	主要銀行	
小計	株数・金額	710	1,095	32,582		
	銘柄数＜比率＞	1銘柄	－	＜ 1.5%＞		
（オーストラリア市場）		百株	千豪ドル	千円		
Aristocrat Leisure Ltd		270	854	64,190	娯楽用品	
CSL Ltd		58	1,524	114,587	バイオテクノロジー	
Sydney Airport Unit (Stapled)		473	416	31,306	その他輸送	
Transurban Group Unit		973	1,433	107,735	その他輸送	
Treasury Wine Estates Ltd		348	618	46,484	アルコール飲料	
小計	株数・金額	2,122	4,844	364,301		
	銘柄数＜比率＞	5銘柄	－	＜17.3%＞		
（中国市場）		百株	千人民元	千円		
Kweichow Moutai Co Ltd A Shrs		16	1,928	30,146	アルコール飲料	
小計	株数・金額	16	1,928	30,146		
	銘柄数＜比率＞	1銘柄	－	＜ 1.4%＞		
（香港市場）		百株	千香港ドル	千円		
AIA Group Ltd		1,266	10,432	145,700	生命・健康保険	
CK Asset Holdings Ltd		630	3,490	48,747	不動産開発	
China Mobile Ltd		235	1,511	21,105	無線通信	
China State Construction International Holdings Ltd (HKSE)		5,263	3,789	52,920	建設・土木	
Citic Telecom International Holdings Ltd		5,730	1,708	23,849	特殊通信	
Guangdong Investment Ltd		3,880	6,596	92,125	コングロマリット	
HSBC Holdings Plc (HKSE)		556	3,339	46,632	主要銀行	
Haier Electronics Group Co Ltd		1,490	3,449	48,176	電化製品	
Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd (HKSE)		173	4,394	61,373	投資銀行・ブローカー	
Link REIT		90	766	10,697	不動産投資信託	
Nexteer Automotive Group Ltd		1,660	1,336	18,664	自動車部品：OEM	
Samsonite International		1,881	3,356	46,869	その他耐久消費財	
Sands China Ltd		492	1,998	27,899	カジノ・ギャンブル	
Tencent Holdings Ltd		251	8,213	114,706	インターネット・ソフトウェアサービス	
Travelsky Technology Ltd H Shrs		1,200	2,177	30,403	その他商業サービス	
小計	株数・金額	24,797	56,553	789,864		
	銘柄数＜比率＞	15銘柄	－	＜37.5%＞		
（インドネシア市場）		百株	千インドネシアルピア	千円		
Bumi Serpong Damai Tbk		21,393	3,005,717	23,444	不動産開発	
Matahari Department Store Tbk		8,704	3,176,960	24,779	デパート	
Telekomunikasi Indonesia Persero Tbk		11,148	4,581,828	35,737	主要通信	
小計	株数・金額	41,245	10,764,505	83,960		
	銘柄数＜比率＞	3銘柄	－	＜ 4.0%＞		

銘柄		株数	評価額 外貨建金額	評価額 基準通貨建金額	業種等	備考
（インド市場）		百株	千インドルピー	千円		
ITC Ltd (DMT) (NSI)		604	15,755	24,179	タバコ	
Indiabulls Housing Finance Ltd		334	8,084	12,407	金融・レンタル・リース	
Zee Entertainment Enterprises Ltd (DMT) (NSI)		405	11,636	17,858	娯楽コンテンツ	
小計	株数・金額	1,343	35,475	54,444		
	銘柄数〈比率〉	3銘柄	－	＜ 2.6%＞		
（韓国市場）		百株	千韓国ウォン	千円		
LG Household & Health Care Ltd		4	551,320	52,069	家庭用品・パーソナルケア	
Samsung Electronics Co Ltd		140	729,400	68,888	通信機器	
小計	株数・金額	144	1,280,720	120,958		
	銘柄数〈比率〉	2銘柄	－	＜ 5.7%＞		
（マレーシア市場）		百株	千マレーシアリンギット	千円		
Genting Malaysia		3,920	1,274	33,693	カジノ・ギャンブル	
Inari Amertron		2,315	472	12,490	半導体	
Malayan Banking		1,365	1,205	31,871	地方銀行	
小計	株数・金額	7,600	2,951	78,054		
	銘柄数〈比率〉	3銘柄	－	＜ 3.7%＞		
（フィリピン市場）		百株	千フィリピンペソ	千円		
Puregold Price Club Inc		3,534	14,030	30,337	食品小売り	
Universal Robina Corp		925	14,018	30,312	製菓業	
小計	株数・金額	4,459	28,048	60,649		
	銘柄数〈比率〉	2銘柄	－	＜ 2.9%＞		
（サウジアラビア市場）		百株	千サウジアラビアリヤル	千円		
Saudi British Bank (The)		110	350	10,195	地方銀行	
小計	株数・金額	110	350	10,195		
	銘柄数〈比率〉	1銘柄	－	＜ 0.5%＞		
（シンガポール市場）		百株	千シンガポールドル	千円		
Silverlake Axis Ltd		2,083	96	7,705	情報技術サービス	
小計	株数・金額	2,083	96	7,705		
	銘柄数〈比率〉	1銘柄	－	＜ 0.4%＞		
（タイ市場）		百株	千タイバーツ	千円		
Advanced Info Service Pcl NVDR		510	11,730	42,207	無線通信	
Kasikornbank Pcl NVDR		412	6,283	22,608	地方銀行	
小計	株数・金額	922	18,013	64,815		
	銘柄数〈比率〉	2銘柄	－	＜ 3.1%＞		
（台湾市場）		百株	千台湾ドル	千円		
MediaTek Inc		650	26,910	96,882	半導体	
President Chain Store Corp		560	17,304	62,299	食品小売り	
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd		1,510	46,131	166,081	半導体	
小計	株数・金額	2,720	90,345	325,262		
	銘柄数〈比率〉	3銘柄	－	＜15.5%＞		

銘柄		株数	評価額		業種等	備考
			外貨建金額	基準通貨建金額		
(米国 ADR 市場)		百株	千米ドル	千円		
Jardine Matheson Holdings Ltd (SGX)		39	222	24,299	コングロマリット	
小計	株数・金額	39	222	24,299		
	銘柄数<比率>	1銘柄	−	< 1.2%>		
合計	株数・金額	88,310	−	2,047,234		
	銘柄数<比率>	43銘柄	−	<97.3%>		

(注1) 基準通貨建金額は、当該ファンドの基準通貨(日本円)建の金額で、当該ファンドの計理基準に基づき換算されています。
(注2) < >は、当該ファンドの純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 上記の銘柄保有状況および評価額の情報は、当該ファンドの受託会社によって提供された情報に基づきますが、外部監査人による監査を受けておりません。

■ 損益計算書

損　益　計　算　書

自　2018年11月10日
至　2019年11月 8日

（単位：千円）

収益		
受取配当金		60,718
受取利息		187
解約差益		0
その他収益		0
	収益計	60,906
費用		
支払利息		0
受託会社報酬		27,522
監査報酬		3,918
源泉税		5,715
管理運営会社報酬		21,537
管理事務報酬		3,229
設立費償却		0
その他費用		5,084
	費用計	67,008
純投資損益		△6,102
投資有価証券及び外国通貨取引に係わる実現損益		
投資有価証券売買損益		70,970
為替差損益		△3,076
		67,893
投資有価証券及び外国通貨取引に係わる未実現損益増減		
有価証券未実現純評価損益増減		135,414
為替未実現純評価損益増減		△1,718
		133,695
営業活動による純資産の純増減額		195,487

（注1）上記の損益計算書は、管理運営会社が提供した純資産計算書の情報に基づき、弊社が作成したものです。
（注2）管理運営会社が提供した純資産計算書は、外部監査人による監査を受けておりません。

スパークス・マネー・マザーファンド

第 12 期

決算日　2019年11月11日

（計算期間：2018年11月13日～2019年11月11日）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。
主要投資対象	わが国の公社債を主要投資対象とします。主として、わが国の公社債に投資を行い利息等収益の確保を図ります。
主な組入制限	①株式（新株予約権証券を含みます。）への投資は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ②同一銘柄の株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額5%以内とします。
分配方針	決算日毎年11月10日（休業日の場合は翌営業日） 収益分配は行いません。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社
東京都港区港南一丁目2番70号　品川シーズンテラス

＜ お問い合わせ先 ＞
リテールBDマーケティング部
電話：03-6711-9200（代表）
受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：https://www.sparx.co.jp/

■ 最近5期の運用実績

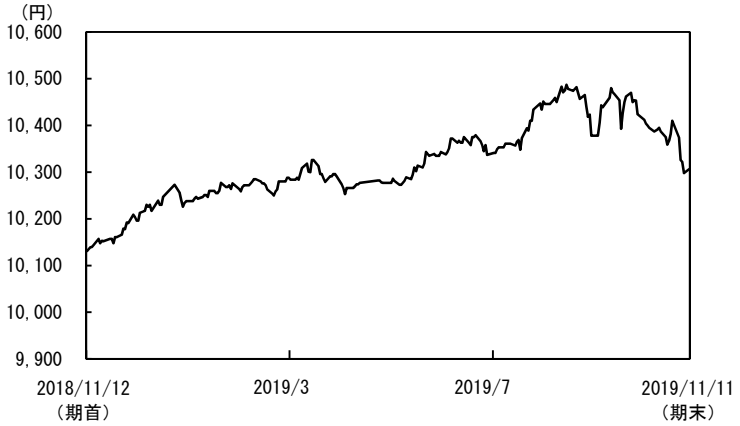
決　算　期	基準価額		債券組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
	円	%	%	百万円
8期(2015年11月10日)	10,125	0.0	73.8	13
9期(2016年11月10日)	10,143	0.2	99.4	10
10期(2017年11月10日)	10,141	△0.0	99.5	10
11期(2018年11月12日)	10,131	△0.1	99.4	10
12期(2019年11月11日)	10,306	1.7	99.1	10

■ 当期中の基準価額等の推移

年　月　日	基準価額		債券組入比率
		騰落率	
(期　首)	円	%	%
2018年11月12日	10,131	－	99.4
11月末	10,161	0.3	99.4
12月末	10,247	1.1	99.4
2019年 1月末	10,260	1.3	99.4
2月末	10,272	1.4	99.4
3月末	10,326	1.9	99.4
4月末	10,277	1.4	99.4
5月末	10,314	1.8	99.4
6月末	10,375	2.4	99.4
7月末	10,369	2.3	99.4
8月末	10,478	3.4	99.4
9月末	10,454	3.2	99.4
10月末	10,382	2.5	99.2
(期　末)			
2019年11月11日	10,306	1.7	99.1

(注) 騰落率は期首比です。

■ 基準価額の推移



■ 運用経過

当マザーファンドは、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行っています。当作成期間の運用にあたりましては、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行いました。

■ 今後の運用方針

引き続き、信託財産の着実な成長を図ることを目標として安定運用を行います。今後も、資産の安全性と流動性の確保を重視し、国債や短期金融資産中心の安定運用を行います。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

該当事項はありません。

■ 期中の売買及び取引の状況 （2018年11月13日から2019年11月11日まで）

該当事項はありません。

■ 利害関係人との取引状況等 （2018年11月13日から2019年11月11日まで）

(1) 当期中の利害関係人との取引状況
当期中における利害関係人との取引はありません。
(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高
該当事項はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第 11 条第 1 項に規定する利害関係人です。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況 （2018年11月13日から2019年11月11日まで）

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況 （2018年11月13日から2019年11月11日まで）

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2019年11月11日現在)

下記は、スパークス・マネー・マザーファンド全体(9,994 千口)の内容です。

公社債

(A) 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	組入比率(うちBB格以下)	残存期間別組入比率		
					(5年以上)	(2年以上)	(2年未満)
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	10,000	10,211	99.1	−	99.1	−	−
合計	10,000	10,211	99.1	−	99.1	−	−

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 単位未満は切り捨て。−印は組み入れなし。
(注3) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
(注4) 残存期間が1年以内の公社債は原則としてアキュムレーションまたはアモチゼーションにより評価しています。

(B) 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種類	銘柄名	利率	額面金額	評価額	償還年月日
		%	千円	千円	
国債証券	第347回長期国債10年	0.1	10,000	10,211	2027/6/20
合計		−	10,000	10,211	−

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2019年11月11日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2019年11月11日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	10,211	99.1
コール・ローン等、その他	89	0.9
投資信託財産総額	10,300	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年11月11日現在)

項目	当期末
(A)資産	10,300,259円
コール・ローン等	84,571
公社債(評価額)	10,211,800
未収利息	3,888
(B)負債	0
(C)純資産総額(A－B)	10,300,259
元本	9,994,224
次期繰越損益金	306,035
(D)受益権総口数	9,994,224口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,306円

〈 注記事項(当期の運用報告書作成時には監査未了) 〉

1. 期首元本額 9,974,992円
   期中追加設定元本額 19,232円
   期中一部解約元本額 －円
2. 期末元本の内訳
   スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型) 9,964,333円
   スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型) 10,659円
   スパークス・ベスト・ピック・ファンドII(日本アジア)ヘッジあり 9,616円
   スパークス・ベスト・ピック・ファンドII(日本アジア)ヘッジなし 9,616円

■ 損益の状況

当期 (自2018年11月13日 至2019年11月11日)

項目	当期
(A)配当等収益	9,971円
受取利息	9,973
支払利息	△ 2
(B)有価証券売買損益	164,700
売買益	164,700
(C)当期損益金(A＋B)	174,671
(D)前期繰越損益金	130,596
(E)追加信託差損益金	768
(F)合計(C＋D＋E)	306,035
次期繰越損益金(F)	306,035

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

■ お知らせ

2019年2月9日付で下記の通り投資信託約款の変更をいたしました。

・当ファンドの電子公告のアドレスにつき、弊社ホームページの URL 変更 (https://www.sparx.co.jp/) に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。